



# 議会だより



自然を感じるお散歩♡

写真提供：平山氏

議会だより掲載写真は  
随時募集中だよ！  
詳しくは裏表紙を  
チェックしてね！



銚田市マスコット  
キャラクター  
ほこまる

令和6年第1回定例会の予定……裏表紙

## 議会映像配信の お知らせ



生中継・録画中継で  
本会議を傍聴できます。

- 令和5年活動報告…………… P2～3
- 令和5年第4回定例会の審議結果は？ …… P4～7
- 特別委員会を設置しました …… P7
- ここが聞きたい！一般質問  
7人が質問しました …… P8～12
- 議会報告会を開催します …… P12
- 請願審査結果は？ …… P13
- 議会の活動を報告します …… P14～16
- お知らせ …… P17
- 気になるその後を調査！追跡レポート …… P18～19

● 1月

- 18日 議会広報編集委員会
- 18日 議会改革に関する調査特別委員会
- 23日 議会広報編集委員会
- 25日 経済建設常任委員会 視察研修
- 25日 議会運営委員会 視察研修

● 2月

- 4日 令和4年度議会報告会
- 6日 議会広報編集委員会 視察研修
- 7日 内示会
- 17日 全員協議会
- 20日 原子力施設の安全に関する調査特別委員会 視察研修
- 24日 議会運営委員会



議会報告会

● 3月

- 24日 第1回定例会
- 2日 全員協議会
- 6日 議会運営委員会
- 6日 トルコ・シリア地震の被災者支援のため義援金を寄託
- 7日 議会運営委員会
- 13日 総務企画常任委員会
- 13日 経済建設常任委員会
- 13日 厚生文教常任委員会
- 13日 総務企画分科会
- 15日 経済建設分科会
- 16日 厚生文教分科会
- 17日 予算特別委員会 (全体会)
- 22日 全員協議会
- 22日 議会改革に関する調査特別委員会
- 24日 議会運営委員会
- 24日 議会広報編集委員会
- 24日 市長へ「鉾田市議会報告会の成果に伴う要望書」を提出



鉾田市議会報告会の成果に伴う要望書を提出

● 4月

- 19日 議会広報編集委員会

● 5月

- 23日 議会運営委員会
- 29日 第2回定例会
- 29日 議会運営委員会
- 29日 全員協議会
- 29日 議会改革に関する調査特別委員会

● 6月

- 9日 第2回定例会
- 1日 議会運営委員会
- 5日 総務企画常任委員会
- 6日 全員協議会
- 6日 厚生文教常任委員会
- 7日 経済建設常任委員会
- 8日 議会運営委員会
- 9日 全員協議会
- 9日 議会運営委員会
- 9日 議会広報編集委員会
- 9日 国・市長へ「令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号による災害の支援に関する要望書」を提出
- 21日 県へ「令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号による災害の支援に関する要望書」を提出



令和5年梅雨前線による大雨及び台風第2号による災害の支援に関する要望書を県へ提出



市発展のため誠心誠意取り組んで参ります。

5年  
な  
日誌



7月

- 7日 議員打合せ会
- 14日 第1回臨時会
- 14日 総務企画常任委員会
- 14日 経済建設常任委員会
- 14日 厚生文教常任委員会
- 14日 議会運営委員会
- 14日 議会広報編集委員会
- 19日 議会広報編集委員会

8月

- 4日 議会運営委員会
- 10日 第2回臨時会
- 28日 議会運営委員会

9月

- 29日 第3回定例会
- 1日 全員協議会
- 1日 議会広報編集委員会
- 5日 議会運営委員会
- 7日 全員協議会
- 13日 モロッコ地震の被災者支援のため義援金を寄託
- 15日 総務企画分科会
- 19日 経済建設分科会
- 20日 厚生文教分科会
- 25日 議会運営委員会
- 25日 決算特別委員会 (全体会)
- 25日 全員協議会
- 26日 総務企画常任委員会
- 27日 厚生文教常任委員会
- 28日 経済建設常任委員会
- 29日 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会
- 29日 原子力施設の安全に関する調査特別委員会
- 29日 議会運営委員会
- 29日 議会広報編集委員会



全員協議会 ほっとパーク鉾田現地調査



モロッコ地震の被災者支援のため義援金を寄託

10月

- 19日 埼玉県三芳町議会 視察来議
- 20日 議会広報編集委員会 視察研修

11月

- 8日 議会広報編集委員会
- 14日 全員協議会
- 14日 原子力施設の安全に関する調査特別委員会
- 15日 鉾田市議会 視察研修

12月

- 1日 議会運営委員会
- 1日 議会広報編集委員会
- 22日 第4回定例会
- 7日 議会運営委員会
- 7日 公共施設のあり方に関する調査特別委員会
- 7日 全員協議会
- 11日 議員研修会
- 12日 議会運営委員会
- 13日 正副議長・正副委員長会議
- 18日 総務企画常任委員会
- 19日 経済建設常任委員会
- 19日 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会
- 19日 全員協議会
- 19日 議会運営委員会
- 19日 議会広報編集委員会
- 20日 厚生文教常任委員会
- 22日 全員協議会
- 22日 議会運営委員会
- 22日 国へ「教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書」の提出



鉾田市議会 視察研修風景



今年も活発な議論と慎重な審議を重ね、鉾田



## 令和5年第4回定例会

- 12月7日〔木〕 本会議  
 ・開会  
 ・会議録署名議員の指名  
 ・会期の決定  
 ・諸般の報告  
 ・行政報告並びに市長提出議案説明  
 (議案第1号から第19号及び  
 報告第1号から第4号)  
 ・議議案第5号提案説明・質疑・討論・採決  
 12月12日〔火〕 本会議  
 ・一般質問  
 12月13日〔水〕 本会議  
 ・一般質問  
 ・市長提出議案説明(議案第20号)  
 12月18日〔月〕 総務企画常任委員会  
 12月19日〔火〕 経済建設常任委員会  
 12月20日〔水〕 厚生文教常任委員会  
 12月22日〔金〕 本会議  
 ・議案第1号から議案第20号質疑・討論・採決  
 ・請願第05-1号委員長報告・質疑・討論・採決  
 ・議議案第6号提案説明・質疑・討論・採決  
 ・議員派遣の件  
 ・閉会

## 概要

令和5年第4回定例会は、12月7日から12月22日までの16日間の会期で開かれました。

議案は、市長から鉾田市国民健康保険税条例の一部改正について、子ども家庭センター運営事業及びふるさと鉾田応援寄附記念品に要する経費等を増額する一般会計補正予算(第7号)など20件が提出され、4件の報告がなされました。

一般質問では、7人の議員から通告があり、物価高騰対策、新庁舎建設、鉾田市スマート農業戦略と農業後継者問題、遊休農地の利用などについて質問をしました。

総務企画常任委員会では「学校跡地活用事業」、「人口減少対策事業」についての所管事務調査を行いました。経済建設常任委員会では「統合小学校通学路整備事業の進捗」、「3D都市モデル利用推進事業」など4点の所管事務調査を行いました。厚生文教常任委員会では請願審査を行うとともに「旭中学校区統合小学校建設事業の進捗」、「旭・鉾田北地区地域包括支援センターの進捗」など4点の所管事務調査を行いました。

今定例会では、提出された議案はすべて可決され、請願第05-1号は採択されました。

また、議員提出された議議案第5号「公共施設のあり方に関する調査特別委員会の設置について」及び議議案第6号「教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書の提出について」も全会一致で可決されました。



全会一致で可決した議案等 / 報告を要する案件

会議名	議案等
第4回定例会	第1号 銚田市職員の給与に関する条例等の一部改正について
	第2号 銚田市印鑑条例の一部改正について
	第3号 銚田市営住宅管理条例の一部改正について
	第4号 銚田市国民健康保険税条例の一部改正について
	第5号 銚田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
	第6号 銚田市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について
	第7号 損害賠償の額の決定及び和解について
	第8号 損害賠償の額の決定及び和解について
	第9号 令和5年度銚田市一般会計補正予算（第7号）
	第10号 令和5年度銚田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
	第11号 令和5年度銚田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
	第12号 令和5年度銚田市介護保険特別会計補正予算（第2号）
	第13号 令和5年度銚田市水道事業会計補正予算（第2号）
	第14号 令和5年度銚田市下水道事業会計補正予算（第2号）
	第15号 銚田市教育委員会委員の任命について（三保谷 智浩氏）
	第16号 銚田市固定資産評価審査委員会委員の選任について（木原 力氏）
	第17号 銚田市固定資産評価審査委員会委員の選任について（才川 一弘氏）
	第18号 銚田市固定資産評価審査委員会委員の選任について（菅谷 卓司氏）
	第19号 令和5年度銚田市一般会計補正予算（第8号）
	第20号 令和5年度銚田市一般会計補正予算（第9号）
請願 第05-1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願
議案 第5号	公共施設のあり方に関する調査特別委員会の設置について
議案 第6号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書の提出について
報告 第1号	専決処分事項の報告について 損害賠償の額の決定及び和解について
報告 第2号	専決処分事項の報告について 損害賠償の額の決定及び和解について
報告 第3号	専決処分事項の報告について 損害賠償の額の決定及び和解について
報告 第4号	専決処分事項の報告について 損害賠償の額の決定及び和解について



市長提出議案概要はこちら



可決

## 銚田市こども家庭センター運営に向けて

議案第9号 令和5年度銚田市一般会計補正予算(第7号)

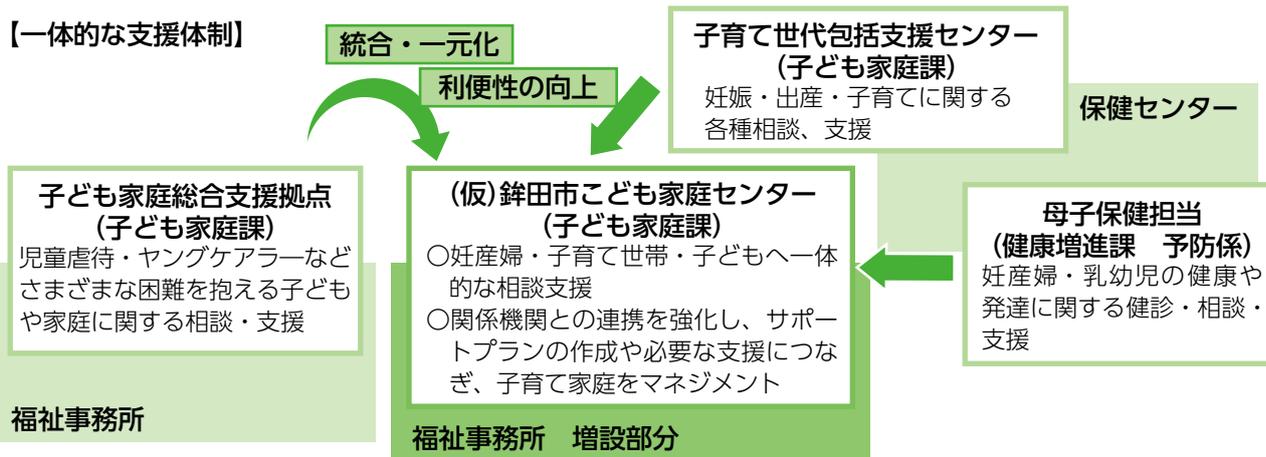
銚田市本庁舎整備事業、こども家庭センター運営事業及びふるさと銚田応援寄附記念品事業に要する経費などを増額し、海水浴場維持管理事業における工事請負費等を減額するもの。

### ○こども家庭センター運営事業 7,770万円

#### 【事業の目的】

こども家庭センターは、「子育て世代包括支援センター（母子保健）」と「子ども家庭総合支援拠点（児童福祉）」、「健康増進課 母子保健担当」が一体となり、より連携を強化して、すべての妊産婦、子育て家庭、子どもを対象に切れ目のない相談・支援を行うため実施するものです。

#### 【一体的な支援体制】



可決

## 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し 支援の追加を行います！

議案第19号 令和5年度銚田市一般会計補正予算(第8号)

物価高騰の負担感の大きい低所得者世帯を支援する電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の追加支給に関する経費、家庭における省エネ性能の高い家電への買い換えを支援する省エネ家電買換促進事業補助金を増額するもの。

### ○住民税非課税世帯価格高騰 重点支援給付金事業 4億552万円

電力・ガス・食料品等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯7万円を支給します。

#### 【対象】

令和5年12月1日時点で銚田市に住民登録があり、世帯全員の令和5年度(令和4年分)の住民税均等割が非課税である世帯(但し、住民税が課税されている者の扶養親族のみの世帯、租税条約の届出により住民税が課されていない者を含む世帯は除く)

#### 【申請期限】

窓口 ~令和6年3月29日(金)まで

郵送 ~令和6年3月31日(日)まで

当日消印有効

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援  
給付金(追加給付)の詳細はこちら



### ○省エネ家電買換促進事業 3,300万円

家庭におけるエネルギー負担の軽減及び温室効果ガスの排出削減を図り、省エネ性能に優れた家電製品等への買換えを支援します。

#### 【対象】

市内在住で県内の店舗(インターネット及び通信販売を除く)で対象家電(※省エネ基準達成率100%以上の新品)を購入した方

#### 【申請期限】

~令和6年3月29日(木)まで

省エネ家電買換促進補助金の  
詳細はこちら



※ 事業の詳細等については、市HPまたは広報ほこた等でご確認ください。



**可決**

## ほっとパーク銚田 再開に向けて!

議案第20号 令和5年度銚田市一般会計補正予算(第9号)

令和5年6月の梅雨前線に伴う大雨により被災した「ほっとパーク銚田」の災害復旧に関する施工監理委託料、工事請負費及び再開に向けた一部改修に関する設計業務委託料を増額するもの。

○健康増進施設災害復旧事業 **3億6,905万円**  
○健康増進施設管理運営事業 **495万円**



### 復旧工事の内容

- ①地下機械室設備の更新及び排水ポンプの増設
- ②通気口及び配管導入部の止水対策
- ③非常用電源の設置
- ④地上部の機械設備への流入対策

再開見込：令和6年11月予定

## 特別委員会を設置し委員を選任

### 公共施設のあり方に関する調査特別委員会

**目的** 人口減少、少子高齢化が進展する時代において、今後の厳しい財政状況を鑑み、自治体経営の視点から本市のさらなる発展、市民の安全・安心確保のため将来を見据えた公共施設の現状及び今後の整備方針等に関する調査・検討を行うため。

**定数** 17名

委員長	副委員長	委員		
米川 宗司	高埜 栄治	関根 正史	久保田 豊	土子 勝也
		羽成 洋一	鬼澤 治男	亀山 彰
		小沼 勝	根崎 眞	水上 美智子
		岩間 勝栄	井川 茂樹	山口 徳
		田口 清一	堀田 正衛	高野 衛



P18,19 追跡レポート  
にも関連記事を掲載しております。  
銚田市の将来を見据えた注目度が高い事案なので議長を除く17名で調査・研究を行ってまいります!!



# ここが聞きたい!!

## 一般質問

### ？ 一般質問とは？

議員が市政全般の現状や方針などを問うものです。ここでは、一般質問を要約して掲載します!!

議員名	質問事項
高野 衛 p9	1 2024年度の予算編成について
	2 東海第二原発と「常陽」の再稼働問題について
	3 横断歩道やセンターラインなど白線の書き替えについて
	4 デマンド型乗合タクシー(ほこまる号)の運行の改善について
	5 小中学校教員の育児休業について
	6 ほっとパーク鉾田の災害復旧の財源について
水上 美智子 p9	1 地域力を生かしたコミュニティ活動について
	2 鹿島灘海浜公園でのほこたオータムフェスティバル2023について
	3 物価高騰対策について
	4 消費生活支援センター及び市の心配事相談について
根寄 眞 p10	1 新庁舎建設について
	2 太陽光発電設備の適切な設置について
	3 鉾田市文化財を活用したまちづくりについて
関根 正史 p10	1 観光イベント開催事業 オータムフェスティバル2023について
	2 鉾田市認定農業者制度について
	3 鉾田市戦没者追悼式について

議員名	質問事項
亀山 彰 p11	1 鉾田市スマート農業戦略と農業後継者問題について
	2 鉾田市財産管理について
高埜 栄治 p11	1 巴川河口周辺の水害対策、水田再生ならびに鉾田川を含む大規模な荒廃低湿地エリアの環境整備と地域振興について
	2 学校運営協議会設置及び地域学校協働活動等による地域に開かれた学校づくりについて
	3 健診及び相談事業等保健衛生ならびに健康づくり推進に係る施設改善及び国保・後期高齢者医療データを活用した組織運営・事業の充実について
土子 勝也 p12	1 遊休農地の利用について
	2 学校跡地利用について
	3 販路拡大事業について
	4 イベントについて



鉾田市議会ホームページで一般質問の会議録を公開しています!

- ①鉾田市のホームページへアクセス  
「<http://www.city.hokota.lg.jp>」
- ②市ガイド内の「鉾田市議会」をクリック
- ③会議録をクリック

※今定例会の会議録は3月上旬公開予定です。

また、各議員の2次元コードを読み込むことで、一般質問の録画放送を再生できます。




## 東海第二原発と高速実験炉「常陽」の再稼働反対を



高野 衛

**問**

東海第二原発は、30キロ圏内に14市町村、94万人の住民が生

**再質問**

東海第二原発に

活する日本一の過密地域であり、建設から60年以上経過し、老朽化した原発である。万が一深刻な事故が発生した場合、極めて大きな被害につながる危険性がある。また、高速実験炉「常陽」も原発延命の核燃料サイクルの推進であり、使用される冷却剤は爆発リスクの高い液体ナトリウムを使用するため、管理が大変難しく、他の原子力施設とは異なる危険性がある。これらのことから、東海第二原発と高速実験炉「常陽」の再稼働の反対を市長として表明すべきではないか伺う。

この不良工事が発覚している。これは本当に重大な問題意識を持って考えていかなければならない。安全が大変軽視された事案であり、この不良工事に至った経緯や原因の全容公開を事業者に求めていくべきでは。

**答**

【総務部長】東海第二

【市長】東海第二発電所と高速実験炉「常陽」の再稼働については、安全であることが最優先である。安全対策工事の状況、また県や近隣自治体の動向を注視するとともに、住民に向けて、広報等の理解活動の推進を各事業所へ要望していく。

**意見**

安全性が問われる。大変軽視された抗議に匹敵する内容であり、追及が甘過ぎる。安全を軽視しており再稼働する資格はない。

**再質問**

国からの物価高

**問**

物価高騰対策の一

**答**

【政策企画部長】国

【政策企画部長】LPガスの原料となるプロパンは比較的価格が安定しており、価格高騰に対して支援した場合は、極めて少額の補助となる。また、事務負担に見合わないこと、加えて、オール電化住宅の普及なども考慮すれば、水道料金と同じく、市民全体の公平性の観点から事業化を断念した。

また、省エネ家電買換促進事業補助金として今回3,300万円の補正予算を計上した。残りの7,700万円については、現在取りまとめをしており、国の推奨メニューとして8つほど掲げられている中の生活者支援と事業支援の2つの大枠に沿って内容を検討している。

**提言**

今回の交付金の

地方創生臨時交付金は本市にどのくらい交付されたのか。

目的は生活者支援とされている。それを全て公平性がないからという理由で実施できないということには理解しがたい。所得減税も受けられず給付金対象にもならない「はざま」になっている方が必ずいるので、どこにも対象とならない方のためにこの交付金を活用して対応いただきたい。



## 水道基本料金の減免やLPガス料金の負担軽減を

水上 美智子



また、省エネ家電買換促進事業の他に、交付金を今後どのように活用する考えなのか。

また、省エネ家電買換促進事業補助金として今回3,300万円の補正予算を計上した。残りの7,700万円については、現在取りまとめをしており、国の推奨メニューとして8つほど掲げられている中の生活者支援と事業支援の2つの大枠に沿って内容を検討している。





根寄 眞

まちづくりをふまえた新庁舎建設を



問

現在人口減少とネット利用が進む中、従来型のハード整備だけで人を呼べる時代は終わった。空洞化する中心市街地へのてこ入れ策ではなく、市民全体が求めるまちづくりを進めていく視点が必要である。そこで新庁舎整備事業をふまえた上で、市長のまちづくりの考えを伺う。

答

【市長】 今回の整備は単なる庁舎の建て替えではなく、建て替えて合わせて公共施設個別施設計画などに基づく公共施設の集約化、複合化を行うことでより事業効果が高いものとする。さらに、今回新たな公共施設も検討していくことにより、これまでなかった施設などの充実も図る。その上で、公共施設の一斉整備に合わせて周辺整備も目指すことで、いわゆるまちづくりの視点による整備を進める。

市全体として公共施設の集約化、複合化による適正配置を図ることに、今後40年間で約283億円の維持管理費

を圧縮する見込みである。今回はその適正配置の中でも大きな位置づけとなる。

人口減少を見据えた公共施設の集約化は不可欠であり、また合併特例債という財源も考慮し、今進めるべきであると、大きな決断をした。

再質問

これから50年、100年後のまちづくりをするためには今までの歴史を捉え、どのような街にするかという確かなビジョンがないと本来求めているビジョンからばやけてしまうと思うが市長の考えは。

答

【市長】 検討委員会、調査特別委員会や区長をはじめ、いろいろな方々の意見を聞きながら造るのがベストだと私は思っている。50年、100年後の市民に喜ばれるような施設の整備を進めていきたい。

認定農業者制度の促進を

関根 正史



問

全国的に農業者の減少が加速する中、本市においても例外ではない。また、近年多発する豪雨災害や過去最高を記録する気温上昇、物価上昇による資材の高騰など、農業経営においても非常に厳しい状況にある。

経営改善を目的とした銚田市認定農業者制度についての趣旨、取組及び加入状況について伺う。

答

【環境経済部長】 認定農業者制度は、農業経営基盤強化促進法に基づき、農業経営の基盤の強化の促進に関する基本的な構想に示された農業経営の目標に向け、自らの経営発展を目指す農業者が農業経営改善計画を作成し、認定を受ける制度である。認定農業者は、この農業経営改善計画の目標達成に向け、作付面積等の規模拡大や農業用機械・設備、新技術の導入による生産方式の合理化、複式簿記での記帳等による経営管理の合理化、休日制の導入による農業従事者の様態等に関する改善等、経営者として自らの創意工夫に基づ

いて農業経営を行う。現在の認定農業者数は721名である。今後、高齢化や人口減少による農業者の減少や耕作放棄地の拡大により地域農地が適切に利用されなくなることが懸念される。認定農業者には、地域の中心的担い手として、農地の集約化等に向けた取組や支援を講じる。

【再質問】 農業法人、企業度の利用が可能か。また、今後の制度、会員維持及び課題について伺う。

答

【環境経済部長】 法人も可能であり、親子で家族経営協定を結んでいる場合は共同申請も可能である。一番の課題は高齢化と後継者不足である。

意見

効率的かつ安定的な農業経営を育成するという目的を実現するため、農業経営の規模拡大、生産方式、経営管理の合理化などを進めていく意欲ある農業経営者を総合的に支援するため、認定農業者制度を多くの農業者が理解し、利用することが本市の農地を守るためにつながる。



# 農業のスマート化を



亀山 彰



## 問

本市の基幹産業である農業は、各農家の自助努力により大きく成長しているが人手不足が課題となっている。人手不足解消に向け農水省では、高効率化、高収益化にするためにスマート農業に多くの補助事業を推進している。

【環境経済部長】本市では、デジタル田園都市国家構想交付金のうち「農業と観光のハーモニー」DAPPE projectの一事業としてドローン農業散布実演研修会を開催し、5名が参加した。令和6年度以降も、農業者に新たなスマート農業技術を周知すべく、関東農政局主催のスマート農業推進フォーラム2023 in 関東に職員を派遣し、知見も含め研修させている。多種多様な農産物が生産される本市としては、生産現場の省力化を目指す農家に適したスマート農業導入に向け、国や県の補助を

## 再質問

活用しながら支援していきたい。国の補助メニューを積極的に獲得し、自動操舵システムなど市が単独で補助できるような形を取れば、人材不足を外国人に頼らず解消できると考えるが、本市の考えは。

## 答

【環境経済部長】本市に合う技術の導入は必要だと考えている。まず先進事例や実証事例で取り組んでいる自治体などを参考にしながら、本市で取り組むことができる事例を研究していきたい。

## 答

【市長】国会議員をを通して国に要望活動や直接情報を得て、積極的に補助金を獲得していく。

## 提言

国にお願いをするだけではなく、『こういうことをしたいから補助金をつくってくれ』、そういうことをお願いしないといけない。本市の実情を国に訴えて、市に合った制度を作るように国を動かす。そういった事業が大切だ。

# 巴川北浦河口周辺の水害対策、荒廃湿地の再生及び環境整備等の地域振興策は

高埜 栄治



## 問

巴川河口フクレ田地域の課税状況について伺う。

## 答

【総務部長】免税点未満を除く約97%が田に課税している。約200名の納税者でほぼ100%に近い収納率になっている。

## 再質問

赤道・青道等の定外公共物の取扱い及び国土調査成果について伺う。

## 答

【建設部長】法定外公共物は国から移管を受けて市で管理している。国土調査は実施済みで区画ははっきりしている。

## 再質問

花粉アレルギー被害及びごみ投棄状況について伺う。

## 答

【環境経済部長】現時点で当該地域周辺からの病害虫などの被害や不法投棄の通報はないが引き続きパトロールを実施していく。

## 再質問

国・県等関係機関への要望とは別に、茨城県管理河川減災対策協議会があるが、台風2号の被害を受けて協議会の開催や要望を行ったのか伺う。

## 答

【総務部長】要望等は実施していない。ほこたグローカープランディングプロジェクト事業の助成と成果ならびに土地利用計画について伺う。

## 再質問

【政策企画部長】当該事業の成果を受け、地方創生推進交付金等事業は市民団体と協力して推進したい。

## 答

【建設部長】民有地のほか農業・環境・土木等の関係機関との調整が必要である。

## 提言

国では河川災害対策を示している。例えば、グリーンインフラ支援制度、かわまちづくり支援制度等があり、さらに防災安全交付金事業や流域貯留浸透事業等も有効であるためぜひ取り組んでいただきたい。

## 答

【市長】厳しい財政を考慮し国の助成事業を活用し地域振興の起爆剤にしたい。何が何でもスタートを切るという決意である。フクレ田地域の再生をしなければ本市の発展はないと思っている。





土子 勝也

## 遊休農地の解消に向けて



**問** 銚田市農業再生協議会の取組について伺う。

**答** 【環境経済部長】農業再生協議会の取組としては需要に応じた主食用米の生産と農業経営の安定化を図るため、飼料用米などの多品目への作付、転換に対する助成である水田活用の直接支払交付金や畑地化促進事業等を周知し、活用を促している。今後も農地の適正化や担い手への農地集積など、遊休農地の発生防止につながるよう支援を行っていきたい。

**再質問** 遊休農地への支援策や農地活用による地域経済の活性化について伺う。

**答** 【環境経済部長】遊休農地の支援策として、茨城かんしょトツプランナー産地拡大事業のうち荒廃農地等再生支援事業があり、令和元年度より茨城県と連携して周知、支援を行っている。これまで15・02ヘクタールの遊休農地の解消でき、一定の効果があったと認

識している。今後の懸念材料としては、農業者の高齢化や人手不足により、さらなる遊休農地が増加するおそれがある。農業をやめる方や農業経営の規模縮小を検討している方は、農業委員などへの相談や農地中間管理事業の説明など、農地の貸し借りのマッチングを行い、担い手への農地の集積、集約化を進めることで遊休農地の発生防止に努めている。今後も関係機関と協力を図り、農地の適正な利活用を促進することで、農地や地域の景観を守り、農村地域の維持や活性化につなげていきたい。

**提言** 日本一の野菜をつくるまちとうたっている以上、畑オーナー制度など、個人向けにやっているところもあるので、本市が先頭になつて旅行会社と一緒にタイアップしながら、観光イベントのような行事を行い、少しでも遊休農地を減らしていただきたい。

## 議会報告会を開催します

昨年中の議会活動について、市民の皆さまに直接ご報告させていただきます。

**【開催日時】**

令和6年2月3日(土)午後2時より

**【開催場所】**

銚田市福祉事務所2階 会議室

**【内 容】**

- 第1部 議会活動報告  
各常任委員会報告
- 第2部 議会活動に関する市民との意見交換会



昨年の報告会



市民の皆さまの議会に対する声をお聞かせください。  
ご参加をお待ちしております。



請 願 審 査

採 択

請願第05-1号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

【請願内容】

子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠である。

このことから国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、教育機会の均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持を求めるもの。

【審査経過】

厚生文教常任委員会に付託された本請願を、請願紹介議員及び参考人の出席を求めて審査しました。審査においては、県内での教員の不足の現状や本市の現状に関する様々な質疑応答が行われ、委員からは、少しずつ教育環境が改善されていることから継続して意見書を出すべきとの意見のほか、教職員の自助努力が必要ではないかなどの意見がありました。最終的には、教職員の長時間労働の是正や子どもたちにとって最善となる環境を整えるためにも国が財源を保障し、教育確保に取り組む必要があるとの理由から採択すべきとの意見が述べられました。

審査の結果、本請願は願意妥当であると認め、**全会一致で採択**となりました。なお、本会議においても全会一致で採択となりました。



国に対し意見書を提出しました

教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書

学校現場では、子どもの貧困・いじめ・不登校、教職員の長時間労働や未配置など、解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。豊かな学びや学校の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠です。

2021年3月の義務標準法改正により、小学校の学級編制標準が段階的に35人に引き下げられてはいるものの、小学校に留まることなく、今後は中学校での35人学級の早期実施も必要です。加えて、きめ細かい教育をすすめるためにはさらなる学級編制標準の引き下げ、少人数学級の実現が必要です。

義務教育費国庫負担制度については、2006年度に国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられました。厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている自治体もありますが、自治体間に教育格差が生じることは大きな問題です。子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、豊かな子どもの学びを保障するためにも、国庫負担制度の堅持、さらには2分の1への復元が必要です。

こうした観点から、国会及び政府におかれましては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政をすすめることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

1. 中学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など、教職員定数改善を推進すること。
3. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財源を確保した上で義務教育費国庫負担制度を堅持すること。



## ■ 視 察 研 修 報 告 ■

### 鉾田市議会 視察研修(令和5年11月15日～11月17日)

- 目的** ①子育て支援、多世代の交流拠点、さらには施設の集約複合化に向けた取組みの調査・研究のため  
 ②公共施設の集約化・複合化、新庁舎建設について調査・研究のため

#### 香川県 宇多津町 子育て支援・交流施設「南部すくすくスクエア」

宇多津町の子育て支援・交流施設「南部すくすくスクエア」は、令和4年4月に町の南部地区の子育て支援の拠点として開設されました。施設の利用をきっかけにお互いの顔や名前を知ること、安心安全なまちづくりを目指すという目的で建てられました。同時に、地域で子どもを見守り育てるという意識のもと、どの世代にとっても居心地のいい空間を作ることに重きを置いて整備されました。

この施設には、未就学児童の遊び場かつ保護者の子育て支援・交流の場である「地域子育て支援拠点事業」、共働き家庭等の小学生に遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る「放課後児童健全育成事業」、中高生の自主学習の場、地域の人が会合等で利用できる集会室・調理室・ワークルールの「貸館事業」に加えて、憩いの場としての「カフェ事業」の機能が備えられています。

本市とは面積や人口等が異なるため、同様の施設を運営していくことは困難と思われませんが、当該施設の必要性については改めて痛感したところであります。



(南部すくすくスクエア入口)



#### 善通寺市新庁舎2階 善通寺市立図書館

誰もが気軽に立ち寄れて、憩いの場であることを実感しました！

#### 南部すくすくスクエア プレイルーム

明るく開放的な空間で子どもたちが楽しそうに遊んでいる姿が印象的でした！



例年は各常任委員会（総務企画、経済建設、厚生文教）ごとに視察を行っていましたが、今年度は改選もあったため気持ち新たに全議員18名で視察を行いました。



視察先で学んできたことを活かし、今後も調査・研究を行います。



## 香川県 善通寺市 新庁舎建設について

善通寺市の新庁舎の建設については、平成22年の耐震診断結果により、倒壊の危険性が高いことから、検討委員会において耐震補強か新築か検討した結果、新築にすべきとの報告を受けました。

図書館機能の併設は、住民からの要望もありますが、複合化による建設費、ランニングコストの経費削減にもつながることから変更になりました。平成30年には基本設計の策定、令和元年には実施計画の策定に至りました。令和2年度には建設工事に着手し、紆余曲折を経て、令和4年1月4日に供用開始することができました。



(善通寺市役所)



新庁舎機能の特徴としては、①市民利用が多い部署を1階のワンフロアに集約し利便性を高め、安心して手続きができるよう来庁者に配慮した点、②防災拠点の設備を充実させた点、③環境に配慮した点、④回遊性を考慮し人とのつながりを通した賑わいづくりを目指した点などが挙げられます。

この度の行政視察を活かし、本市にとってより良い庁舎となるよう、今後も更なる調査・検討を重ねて参ります。

## 議会広報編集委員会 視察研修(令和5年10月19日～10月20日)

**目的** 議会だよりの編集方法等を調査研究することにより、議会広報の内容の充実を図るため

## 兵庫県 洲本市 議会広報の内容の充実に向けて

洲本市議会では、市民と市議会を結ぶパイプとして重要な役割を持つ議会だよりをより詳しく、より分かりやすく、より親しみを感じていただくような取組みがされておりました。

平成28年には身近で市民とともに議会はあるとの意味を込めて「議会だよりのぎかい」から「みんなのぎかい」にタイトルを変更し、写真の配置や簡潔な説明で余白を確保するなどレイアウトの工夫や、専門用語の言いかえを進めるなどの改善を行いました。



(洲本市議会議場)



令和2年4月から写真の一般募集を開始し、紙面のフルカラーに併せて7月号から表紙に募集した写真を採用しており、現在60件くらいの応募があり1年の有効期間を設けて季節に合わせて審査しているとのことでした。

本委員会においても、“見てもらえる議会だよりに”向け、よりよいものとなるよう研究してまいります。



## 議会活動報告

埼玉県三芳町議会 議会運営委員会 視察来議（令和5年10月17日）

### 議場大型ディスプレイの導入について

令和5年10月17日、埼玉県三芳町議会（議会運営委員会）の皆様が鉾田市に行政視察に来られました。

議場の大型ディスプレイの導入に際してのイニシャルコスト、ランニングコストやメリット・デメリット等説明しました。

活発な議論を行い、今後の議会運営の参考になる情報も得ることができました。



### 議員研修会 開催（令和5年12月11日）

テーマ 地方議員に求められる役割 権限と議員活動

さまざまな自治体の議会アドバイザー、政策アドバイザーを行っている一般社団法人 地方公共団体政策支援機構上席研究員の 長内 紳悟 氏 を講師にお招きし、「地方議員に求められる役割 権限と議員活動」について、研修会を開催しました。

先進的な市議会での現状や具体例を用いながら、「社会の縮図」である議会でのルール作り、「社会に対するよい働きかけ」となる政策についてなどを学びました。

世の中の変化や行政の高度化に伴いデータリテラシーを高めること、そのためのデータの活用方法、議案質疑や一般質問においての「事業」ではなく「施策」に焦点を当てること、18人の議員間での話し合いの重要性など、改めて認識しました。

今回の研修では、鉾田市がさらによくするために議員としてではなく議会の権限として、誠実に職務を行っていくよう改めて気が引き締まる思いの充実した研修会となりました。

市議会では年に1度、議員の識見を高めるための研修会を開催しております。



これからも議員として襟を正し、市民の福祉向上のため積極的に議員活動を行います。



## お知らせ

### 議会映像配信をご利用ください

一般質問や採決などの本会議の様子は、インターネットを使用したライブ中継や録画配信を行っています。

インターネット環境があればいつでもどこでも議会を視聴することができますので、ぜひご活用ください。(録画配信は概ね1週間程度で反映されます)



視聴はこちら

### 旭地区と大洋地区でも視聴ができます

インターネット環境がない方は、旭総合支所及び大洋公民館にて**ライブ中継の視聴**ができますので、ご活用ください。お近くにお住まいの方も立ち寄った際はぜひ!

市内3箇所でライブ中継をご覧いただけます。

- ・銚田市役所 1階ロビー
- ・旭総合支所 1階ロビー
- ・大洋公民館 1階ロビー



ライブ中継をご覧いただく際の注意



旭総合支所



大洋公民館

### 議会傍聴希望の皆様へ

本会議は、原則として銚田市議会傍聴人受付簿に住所、氏名、年齢、電話番号を記入していただければ、誰でも傍聴することができます。(児童及び乳児は議長の許可が必要)

傍聴をご希望の方は、傍聴を希望される当日に市役所3階の議会事務局までお越しください。

### 傍聴についてお願い

～傍聴の際は以下の点にご留意ください。～

- マスクの着用は、個人の判断に委ねます。**
- 咳エチケットを励行してください。
- 手洗い・手指の消毒を徹底してください。
- 熱がある場合や体調不良(だるい・咳が出るなど)の場合は、傍聴参加を自粛願います。

**本会議** 3月、6月、9月、12月の4回開催

**場所** 銚田市議会議場(銚田市役所3階)

**開会** 午前10時

**受付** 銚田市役所3階  
議会事務局前  
(事前の申込不要)

議場内の  
ルール厳守に  
ご協力を



私語や拍手、高笑い禁止  
議場内は静粛に



携帯の使用禁止  
マナーモードに



議場内飲食禁止



庁舎内禁煙



議会では、各議員が一般質問や予算・決算審議をとおして、銚田市及び地域固有の行政課題や市長の進める行政運営について、改善を促す、あるいは改革を求める提案をしています。そこで、これらの議員発言の中から市長がその必要性を認めた課題への取り組みを追跡し、市民に取り組み結果や進捗状況等をお知らせするため、この追跡レポートを行っています。

■主な質疑を check ..... 令和5年6月9日 全員協議会にて

**問** 一度立ち止まり、現計画は実施しないということだがどういう理由なのか。

**答** 当初35億円ということで多くの方々の意見を聞きながら計画を進めてきた。その後の基本設計の概算事業費が約60億円になった。この60億円もこの世界的な情勢を見ると、60億円で止まる状況ではないということで判断した。

**問** 市民の皆さんにはどのように説明するのか。市長の考え方は。

**答** 一度立ち止まって、飯名地区の部分を含めていろいろ精査して今後検討していきたい。本当に断腸の思いで私は決断した。



■これまでの事業にかかった経費を check .....

(仮称)市民交流館整備事業 (平成23～29年度)	
主な項目	事業費計
委託料(平成23～28年度)	2億2,326万円
工事費(平成28～29年度)	6,904万円
用地取得費(平成28年度)	1億6,083万円
その他事務費・人件費 (平成23～29年度)	9,076万円
計	5億4,389万円

(仮称)銚田市子育て・コミュニティセンター整備事業 (平成30～令和5年度)	
主な項目	事業費計
委託料(令和2～5年度)	1,034万円
その他事務費・人件費 (平成30～令和4年度)	4,648万円
契約の解約に伴う損害賠償額 (令和5年度)	1,212万円
計	6,894万円

(仮称)銚田市子育て・コミュニティセンター整備事業については、世界的な原材料の品不足、原油等エネルギーの価格高騰、円安の影響、ウクライナ危機の長期化により、幅広い資材において価格高騰になり、基本計画時点では、約35億円だった事業費が、基本設計において約60億円となったことや、現在、整備を進めている旭中学校区統合小学校整備事業及び銚田市・大洗町新ごみ処理施設整備事業、さらには、老朽化した市全体の公共施設整備の経費も、今後上昇が見込まれることから、市の将来を見据え、現計画である(仮称)銚田市子育て・コミュニティセンター整備事業の中止を決定いたしました。

飯名区長ヘインタビュー (令和5年12月8日)



**問** 飯名地区市有地の施設建設事業が2度目の中止になったことについてどのように思われますか？

**答** 中止が決定してからの地区への説明だった。中止の決断をする前に地区への説明があるべきではないか。地区では期待していただけにがっかりしている。

**問** 今後、飯名地区の市有地をどのように活用して欲しいか？

**答** (仮称)市民交流館建設のために土地を提供した方もいる。約束したことを守って欲しい。交流施設の建設が原点であり望みである。イベントができるところがなく銚田のまちが衰退してしまう。



左から久保田議会広報編集委員、飯名区長





気になるその後を  
調査しました！

# 追跡レポート

(第4回)

## 追跡テーマ 飯名地区市有地利活用について

飯名地区市有地利活用については、(仮称)銚田市子育て・コミュニティセンター整備事業だけではなく(仮称)市民交流館整備事業の時から議案質疑や一般質問で多くの議員が質問されてきました。

今回は、(仮称)銚田市子育て・コミュニティセンター整備事業が中止に至った今までの経過や金額など飯名地区市有地利活用について改めて調査しました。

### ■これまでの経過を check

平成29年12月	(仮称)銚田市民交流館の整備計画を白紙撤回
平成30年8月	飯名地区市有地利活用方針(案)をまとめる
平成31年2月	飯名地区市有地利活用検討委員会が市長へ、「飯名地区市有地利活用に向けての提言書」を提出
平成31年3月	市民1万人への文化施設及び飯名地区の市有地の利活用に関する市民意識調査を実施
令和元年6月	市長は、市民意識調査の結果、飯名地区市有地は提言に沿って検討を進めることを市議会において説明
令和2年11月	飯名地区市有地利活用基本構想の策定
令和4年3月	市長は、飯名地区市有地利活用基本計画検討委員会から基本計画(案)の提出を受け、銚田市飯名地区市有地利活用基本計画を策定 施設名称「(仮称)銚田市子育て・コミュニティセンター」に
令和4年7月	基本設計及び実施設計業務委託を契約
令和4年11月	(仮称)銚田市子育て・コミュニティセンター基本設計検討委員会及びインフラ整備検討委員会の設置
令和5年5月29日	全員協議会にて基本設計(案)について説明
令和5年6月9日	全員協議会にて市長より、一度立ち止まり、現計画は実施しないことの説明 現計画の中止を飯名区役員に説明
令和5年6月30日	現計画の中止に係るプレスリリース
令和5年11月	基本設計及び実施設計策定業務委託契約、並びに管理運営計画策定業務委託契約の解約の手続き

執行部において、「銚田市新庁舎・公共施設等整備推進本部」が設置され、今後、飯名地区市有地の利活用については、市全体の公共施設等の集約化・複合化の中で総合的に検討され、飯名地区市有地利活用基本計画で定めた基本理念やコンセプト等の方向性についても検討されます。

議会においても今定例会で「公共施設のあり方に関する調査特別委員会」が設置されました。

(関連記事 P7)

多額の予算を投じる公共施設の建設に関し、市民生活への影響や市の財政状況、地域の活性化など様々な視点から飯名地区市有地の利活用を含めてしっかりとした政策提案ができるように今後も鋭意、調査・研究をしていきます。



# 掲載写真募集!! .....

あなたの写真を議会だよりに掲載してみませんか？

## ■写真のテーマ『発見！魅力ある鉾田の風景』

(例 北浦などの水辺の風景、花いっぱいな風景 など)

## ■申込方法

下記の必要事項を明記のうえ、議会事務局まで画像データ持参またはメール(gikai@city.hokota.lg.jp)でお申し込みください。

- ・氏名・住所・電話番号・写真撮影場所(〇〇地区など)
- ・写真のタイトル(20字以内)

※団体名(〇〇クラブなど)も記載希望の方は、そちらも明記ください。

※掲載スペースの関係上写真は横向き。メールでの画像データはJPEG形式で6MB以内。

## ■注意事項

画像等の返却はできません。また、人物等を含む写真の場合は肖像権の侵害等が生じないよう、事前に被写体の承諾を得たうえで申し込みください。



お申込みは  
こちら▶



## 令和6年第1回定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	29	3/1 本会議 (開会)	2
3	4 会派代表 質問・ 一般質問	5 一般質問	6 一般質問	7 常任 委員会	8 本会議	9
10	11 常任 委員会	12 本会議	13 本会議	14 予算特別 委員会	15 予算特別 委員会	16
17	18 予算特別 委員会	19 常任 委員会	20 春分の日	21 予算特別 委員会	22	23
24	25 本会議 (閉会)	26	27	28	29	30

※日程は変更になる場合があります。

令和5年第4回定例会延べ傍聴者数 **47名**  
議会映像配信視聴数 **297アクセス**  
(令和5年12月7日～令和5年12月22日)

### 編集委員

委員長 羽成 洋一  
副委員長 土子 勝也  
委員 関根 正史 久保田 豊  
鬼澤 治男 亀山 彰



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



## 令和6年能登半島地震の被災者支援 のため義援金を寄託しました



詳細はこちら



## 傍聴者の声

造谷第一区長  
笹目 豊

令和5年第4回鉾田市議会定例会の一般質問を傍聴しました。

質疑応答では市民の身近な問題から市の将来を見据えた事案まで幅広く取り上げられていました。

鉾田市をいかに魅力あるまちにしていくのか各議員さんの熱い思いが伝わるとともに行政側の取り組みや考え方についても知ることができて良かったと思います。

いろいろな問題はありますが、特に人口減少対策が大きな課題であり今後とも皆でアイデアを出し合って進めていく必要があると感じました。

また一市民として、政治は選挙で終わりではなく市民の一人ひとりが常に関心を持っていくことが大切であり「よりよく住みやすいまちづくり」に繋がっていくものと考えます。

## 議会を傍聴してみませんか！

次回の定例会は

**3月1日(金)～**

開会は午前10時です

事前の予約は不要ですので、市役所3階事務局前にお越しいただき、傍聴の受付をしてください。  
※日程は変更になる場合があります。